

第1回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会 会議録

- 1 会議名 第1回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
- 2 日時 平成28年5月25日(水) 午後1時半から午後3時
- 3 会場 東久留米市役所7階 701会議室
- 4 出席委員 石橋委員(副会長)、一木委員、伊藤委員、稲田委員、井上委員、大山委員、神谷委員、小松崎委員、白井委員、高室委員、田口委員、鶴岡委員(会長)、時任委員、戸部委員、宮下委員、村上委員 以上16名
- 5 欠席委員 岡野委員、増田委員 以上2名
- 6 事務局 内野福祉保健部長、小堀介護福祉課長、遠藤健康課長、三上係長、大川主事、小高主事
- 7 傍聴人 1名
- 8 次第 第1回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
 - (1) 委員自己紹介
 - (2) 事務局紹介
 - (3) 配布資料の確認
 - (4) 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱について
 - (5) 会長及び副会長の選任について
 - (6) 議題
 - 議題1 平成28年度における東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の進め方について
 - 議題2 在宅療養における地域の課題抽出の方法について
 - 議題3 多職種研修兼市民向け講演会の開催について
 - 議題4 その他
- 9 配布資料
 - 【資料1】 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱
 - 【資料2】 平成28年度における東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の進め方について
 - 【資料3】 在宅療養における地域の課題抽出の方法について
 - 【資料4】 多職種研修兼市民向け講演会の開催について

10 第1回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

(1) 委員委嘱式

(2) 福祉保健部長挨拶・委員自己紹介・事務局紹介・配布資料の確認・東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱説明・会長及び副会長の選任（省略）

(3) 出欠席者等の確認

- ・出席者16名、欠席者2名。定足数に達しており会議は成立
- ・傍聴人 1名入室

(4) 議題（要点のみ筆記）

① 議題1 平成28年度における東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の進め方について

【事務局】 今後の協議会を10月末から11月に第2回、2月中に第3回を実施する予定。時
については決定し次第委員に通知する。

地域の課題抽出の方法は市内医療機関及び介護事業所の他、市外の医療機関も対象とするアンケート調査の実施し、第二回、第三回の協議会で対応策を検討していく。

【委員】（異議なし）

② 議題2 在宅療養における地域の課題抽出の方法について

【事務局】 課題の抽出手段として下記内容のアンケートを実施したい。

①既存の情報源の活用状況の検証、それと新たな情報ツールの必要性の検証

②入退院時の支援における課題の抽出

③独居の高齢者の看取りや認知症の方の在宅療養の支援における課題の抽出

④東久留米市在宅療養相談窓口の活用状況の確認と現状における課題の抽出

⑤他の市区町村、介護関係の施設等での研修の開催状況及び必要と考える他職種研修について

⑥地域住民への普及啓発に関する要望

実施対象は、市内と市外の医療機関、市内居宅介護支援事業所、その他市内介護事業所としたい。

【会長】 本件について何か意見等はあるか。

【副会長】 誰が回答したかというところを明確にするために、担当者名前役職を書く欄を設ける必要があるのではないか。

【委員】 アンケートに答える対象の事業所が、在宅療養に関わっているのかを回答する項目を設けたほうがいいのか。

【委員】 目的の所とリンクする形で、出だしを工夫する必要があるのではないか。

- 【委員】 アンケートは1回しか行わないのか。
- 【事務局】 現状の想定では複数回実施する予定はない。
- 【副会長】 回答率をより高めるために、アンケートの送付は誰宛に送付するのがよいのか。
- 【委員】 病院は地域連携室宛に送付してもらうのがよい。
- 【委員】 診療所等は所属する職能団体宛か、院長宛に送付してもらうのがよい。
- 【委員】 介護関係の事業所は施設長宛か各担当宛に送付してもらうのがよい。
- 【会長】 それでは、本日出た意見を基に事務局側でアンケート内容の修正をお願いします。
今後の修正については事務局と会長、副会長の調整に一任いただけるか。
- 【委員】 異議なし

③ 議題3 多職種研修兼市民向け講演会の開催について

- 【委員】 在宅療養窓口にて市民に向けた普及啓発活動兼多職種研修の講演会を開催したい。
研修会の目的は、これからの超高齢社会時代の突入に向けて、できるだけ多くの市民の方が、住み慣れた地域社会で、ご本人の望む最期を迎えられるよう、地域包括ケアシステムの構築が急がれているが、具体的な在宅療養の成功事例から、市民の方々が主体的に自分の最期について考えると共に、医療と介護のより良い多職種連携について検討していくことを目的とする。
開催は10月15日を予定している。参加対象者は市民を主対象者とし、その他で医療関係者、介護福祉関係者、行政関係者を対象としている。
- 【会長】 本件について何か意見等はあるか。
- 【委員】 研修会で実施するアンケートを、本協議会で活用できるものとしてもらいたい。

④ 議題4 その他

事務局より、事務手続の説明の為省略。

(5) 閉会

- 【会長】 それでは、これを以って、第1回東久留米市在宅医療・介護連携協議会を終了させていただく。次回については、議題1のところの説明があったように、10月末～11月の開催が予定されている。具体的な日程等については、近くなったところで連絡があると思う。委員各位におかれては、今後の会議開催、進行に特段の配慮をいただきたい。

閉会15時